

当資料の表計算シート版をご利用になりたい方は、下記までご連絡ください。

ゾーホージャパン Manage Engine事業 : jp-memarketing@zohocorp.com

※競合会社、または当社が不適切だと判断した場合は対応をお断りする可能性があります。予めご了承ください。

当資料は、2017年9月現在のものです。記載されている製品に関する情報やホームページの内容は事前の予告なしに変更する場合があります。  
ZJMP170904101 Copyright ZOH Japan Corporation. All Rights Reserved.

種別	要件	ゾーホージャパン		A社		B社	
		実現可否	備考	実現可否	備考	実現可否	備考
1-1	AWS(Amazon) IAM	○	AWS SDKを使用しAWS IAMユーザーアカウントのパスワード変更を行います。				
1-2	Cisco Cat OS/Cisco IOS/Cisco PIX	○	enableアカウントを使用しパスワード変更を行います。				
1-3	File Store/Key Store/License Store	○	様々なファイルをPassword Manager Proのレポジトリに、パスワードと共に安全に保管することができます。				
1-4	G Suite	○	Google Data APIを使用しユーザーアカウントのパスワード変更を行います。				
1-5	HP iLO/Oracle ALOM/Oracle ILOM/Oracle XSCF	○	パスワード変更には対応していません。特権IDを共有する際にアカウントを登録します。				
1-6	HP ProCurve	○	特権IDを使用しパスワード変更を行います。				
1-7	HP UNIX/IBM AIX/Mac/Solaris	○	特権IDを使用しパスワード変更を行います。				
1-8	Linux	○	特権IDを使用しパスワード変更を行います。				
1-9	IBM AS400	○	パスワード変更には対応していません。特権IDを共有する際にアカウントを登録します。				
1-10	Juniper NetScreen ScreenOS	○	特権IDを使用しパスワード変更を行います。				
1-11	LDAP Server	○	管理者権限を使用して、LDAPサーバーのパスワード変更を行います。パスワード変更を行うためには、管理者アカウントを指定する必要があります。				
1-12	管理対象のITリソース(パスワード変更)	○	Microsoft Azure	○	Powershellを使用しMicrosoft Azureアカウントのパスワード変更を行います。		
1-13		○	MS SQL Server	○	MS SQL Serverのパスワード変更はJDBC経由で行います。		
1-14		○	MySQL Server	○	MySQLサーバーのパスワード変更はJDBC経由で行います。		
1-15		○	Oracle DB Server	○	特権IDを使用しパスワード変更を行います。		
1-16		○	PostgreSQL Server	○	PostgreSQLサーバーのパスワード変更はJDBC経由で行います。		
1-17		○	Rackspace	○	Rackspace REST APIを使用しパスワード変更を行います。		
1-18		○	Sybase ASE	○	JConnect 6.0 JDBC driverを使用しパスワードの変更を行います。パスワード変更を行うためには JConnect 6.0 JDBC driver が必須です		
1-19		○	VMware ESXi	○	特権ID(root権限)を使用しパスワード変更を行います。		
1-20		○	Web Site Accounts	○	パスワード変更には対応していません。特権IDを共有する際にアカウントを登録します。		
1-21		○	Windows/WindowsDomain	○	特権ID(Administratorsグループ)を使用しパスワード変更を行います。(本製品をLinuxOSへインストールした場合には、エージェントが必要です)		
1-22		○	管理対象外のITリソースへの影響	○	管理対象外のシステムへ制限はかかりません。		
2-1		○	RDP	○	ブラウザ経由でRDPプロトコルで接続し、踏み台アクセスを行い、アクセス中の操作内容について動画として記録が行えます。		
2-2		○	SSH/Telnet	○	ブラウザ経由でSSH/Telnetプロトコルで接続し、踏み台アクセスを行い、アクセス中の操作内容についてテキストとして記録が行えます。		
2-3		○	SQL	○	ブラウザ経由でSQLを使用してDBに接続し、アクセス中の操作内容についてテキストとして記録が行えます。		
2-4		○	ワンクリック自動ログイン	○	ブラウザ拡張機能を使用することで、Webアプリケーションにパスワードを入力することなくログインができます。		
3-1		○	パスワード有効期限の設定	○			
3-2		△	変更後、再変更禁止期間の設定	△	OS側などのポリシー設定をご活用ください。		
3-3		○	有効期限切れのパスワードを報告	○			
3-4		○	世代管理	○	過去のパスワード履歴を保存可能です。		
3-5		○	文字数の設定	○	最小/最大の文字数を設定可能です。また、大文字/小文字/数字/特殊文字の数を強制することが可能です。		
3-6		○	パスワード変更の自動化	○	定期的にパスワードを変更したり、申請・承認フローでパスワードを申請者に貸出した後、返却時に自動でパスワードを変更することが可能です。		
3-7		○	パスワードの履歴を確認	○	PMPを介してパスワード変更した場合、パスワードの履歴を確認可能です。		
4-1		○	許可されたユーザーのみログイン	○			
4-2		○	各ユーザーをグループ化して管理	○			
4-3		○	Active Directoryユーザーでログイン	○	Active Directoryと連携して、ログインすることが可能です。IE11のみがサポート対象となりますが、シングルサインオンも可能です。		
4-4		○	2段階認証	○	電話認証やワンタイムパスワード、RSA SecureID・Google Authenticator・RADIUS Authenticator・Duo Securityとの連携による2段階認証を行うことが可能です。		
4-5		○	特権ID管理製品へのログインユーザー	○	多要素認証連携	○	DDS社が提供する、統合認証システムEVE MAおよびEVE FAを利用することで、指紋認証やICカードを用いた多要素認証を行うことが可能です。認証連携については、連携サポート済みです。
4-6		△	ログインできる端末を制御	△	弊社製品自身で、特権ID管理システムへアクセス可能な端末を制限することはできません。ネットワーク機器またはOS上のFirewall、資産管理ソフトウェア等でアクセス制限を行ってください。		
4-7		○	権限の種類	○	管理者や監査人、申請者などデフォルトで4段階の権限を設けています。		
4-8		○	操作範囲をカスタマイズ	○			

5-1	ITリソースへのアクセス	ITリソースへのアクセス方法	-	ブラウザ上でWindowsの場合はRDP、LinuxやNW機器の場合はSSHやTelnet、DBの場合はDBコンソールを使用してITリソースに接続します。			
5-2		各リソースをグループ化して管理	○				
5-3		同一リソースに対して同時に複数のIDでアクセス	○	同一リソースに対して同時に同一のIDでアクセスは行えないため、同一リソースへ同時に複数人でアクセスする場合には、IDを複数用意するなどに対処ください。			
5-4		同時接続可能なセッション数	-	製品としては制限を設けておりませんが、サーバーバグに依存します。弊社で確認している範囲では、同時に20セッションの接続を確認しています。			
6-1	申請・承認フロー	ITリソースへの申請承認フロー	○				
6-2		承認者の設定	○	申請者に応じて適切な承認者を割り当てることが可能です。			
6-3		2段階の承認フロー	○	弊社ServiceDesk Plusと連携することで、複数階層の承認回付が可能となります。			
6-4		作業内容のコメントを記入	○	当該製品単独の場合は、作業内容についてテキスト情報として申請可能です。入力項目などを有する、申請Webフォームを用意する場合は、弊社ServiceDesk Plusとの併用で可能となります。			
6-5		承認されたユーザーのみ操作を許可	○				
6-6		リソースを利用できる期間を制限	○	承認後にチェックアウト（貸出）からXXX分間許可するといった設定を予めリソース単位に行うことが可能です。			
6-7		パスワードを表示せずに利用	○	特権IDの利用申請が承認されると、ユーザーは当該製品のブラウザのGUI上から、ITリソースに対してゲートウェイ接続を行います。このとき、GUI上にパスワードが表示されない設定にできます。また、取ってユーザーにパスワードを開示して利用させる設定も可能です。			
6-8		ワンタイムパスワードを発行	○	特権IDの利用が終了した時、予め定義したパスワードポリシー（強度）に応じて、ITリソースのパスワードを自動変更できます。			
7-1	操作内容の記録	サーバーでの全操作内容を記録	○	Windowsサーバーは動画形式で、LinuxサーバーやDBの場合はテキスト形式で記録します。動画の場合、1分あたり1MBの容量が必要となります。(マウス操作がない時間帯は、静止画として保存します)			
7-2		特権利用状況をリアルタイムで確認	○				
7-3		操作内容の保存期間を設定	○				
7-4		特定のIDのみ記録	○				
7-5		管理者のみ操作内容を閲覧	○				
7-6		文字列での操作内容を検索	○ (他製品と併用)	弊社EventLog Analyzerを併用することで可能となります。			
7-7		定型レポート	○	ワークフロー承認結果や特権IDの欄卸など、用途に応じたレポートが出力可能です。			
7-8		レポートの簡易なカスタマイズ	○	レポート条件を設定することで、簡易なカスタマイズが可能です。			
8-1	通知機能	アカウント操作(作成/変更/削除)をメールで通知	○				
8-2		パスワード有効期限の数日前にメールで通知	○				
8-3		申請承認フローをメールで通知	○	申請、承認、申請が拒否された場合に、メールで通知することが可能です。			
8-4		不正を検知した際にメールで通知	○ (他製品と併用)	弊社EventLog Analyzerを併用することで可能となります。予め設定したイベントIDや接続元、メッセージなどに応じてアラート通知が行えます。			
9-1	システム	容易なインストール	○	パスワード管理機能、踏み台機能が1つのサーバー上で動作可能。			
9-2		無停止(障害時、バージョンアップなど)	×	バージョンアップ時には、PMPサーバーを停止いただく必要があります。			
9-3		冗長構成	○	2台のサーバーにより冗長構成を取ることができます。			
9-4		バックアップ	○	データベースのバックアップを行うことが可能です。			
9-5		エージェントレス	○	各サーバー上にクライアントエージェントをインストールせずに、特権IDの管理や操作画面の録画が可能です。また、NWセグメント越しに利用する場合などにおいては、エージェントを利用して運用することも可能です。			
10-1	動作環境	必要とするサーバー台数	-	通常は1台、冗長化を行う場合には2台必要です。			
10-2		サーバー動作環境	-	Windows ServerやLinux上に構築可能です。AmazonやAzure、仮想基盤上での稼働が可能です。※LinuxOSに本製品をインストールした場合、Windows OSのパスワード変更にはエージェントが必要です。			
10-3		対応ブラウザ	-	Internet Explorer、Firefox、Google Chrome			
10-4		その他費用なミドルウェア	-	Internet Explorerを利用の場合には、SSLサーバー証明書の適用が必要となります。データベースはPostgre、WebサーバーはApacheをインストーラーにバンドルしております。			
11-1	サポート	インストールドキュメント	○				
11-2		運用マニュアル	○	ナレッジベースやヘルプドキュメントを閲覧可能です。			
11-3		バージョンライフサイクルポリシー	-	旧バージョンは、最新バージョンがリリースされた日から12か月間後にサポート終了日(EOL)となります。			
11-4		バージョンアップ頻度	-	バージョンアップ頻度は確定しておりませんが、ここ最近では、3-4か月に1度バージョンアップを実施しています。			
11-5		FAQ	○	平日9:00-18:00でメールによるサポート可能です。			
11-6		電話サポート	×	Webフォームで受け付け、メールによるサポート対応とさせていただきます。			
11-7		リモートサポート	○	WebEX、Zohoミーティングでのサポート可能です。(平日9:00-18:00)			
11-8		導入支援可能なSier名	-	ソーホージャパン提携のパートナーについては下記をご参照ください。 <a href="https://www.manageengine.jp/pace/technicalpartner_Password_Manager_Pro.html">https://www.manageengine.jp/pace/technicalpartner_Password_Manager_Pro.html</a>			
12-1		ソフトウェアライセンス体系	-	■Password Manager Proのライセンスについては下記をご参照ください。 <a href="https://www.manageengine.jp/products/Password_Manager_Pro/pricing.html">https://www.manageengine.jp/products/Password_Manager_Pro/pricing.html</a> ■ログ管理を行う場合に併用を推奨しているEventLog Analyzerのライセンスについては、以下をご参照ください。 <a href="https://www.manageengine.jp/products/EventLog_Analyzer/pricing.html">https://www.manageengine.jp/products/EventLog_Analyzer/pricing.html</a>			

12-2	費用	<p>管理対象リソース:X台、管理対象ID:Y        個、特権ID利用者:Z人、管理者:N人、冗        長構成:有、の場合の初年度ライセンス費        用        ※Password Manager Proの場合、X/Y/Z        の数は無制限に追加できます。</p>	<p>—</p> <p>Password Manager Pro（ログ管理を行う場合は        EventLog Analyzerを併用）の導入価格については、以        下をご参照ください。</p> <p>■導入費用サンプル  <a href="https://www.manageengine.jp/download/enter.php?Category=ManageEngine&amp;dl=DL_5&amp;nickname=Password%20Manager%20Pro&amp;No=2471">https://www.manageengine.jp/download/enter.php?Category=ManageEngine&amp;dl=DL_5&amp;nickname=Password%20Manager%20Pro&amp;No=2471</a></p> <p>■見積依頼フォーム  <a href="https://ssl.zoho.co.jp/form/form_mail.php?category=m1&amp;nickname=Password+Manager+Pro">https://ssl.zoho.co.jp/form/form_mail.php?category=m1&amp;nickname=Password+Manager+Pro</a></p>			
13-1		国内における導入実績数	<p>—</p> <p>Password Manager Proを導入された企業様の内、事例        掲載を許諾頂いた企業様の情報は、下記となります。</p>			
13-2	実績	国内同業種における導入実績数	<p>—</p> <p><a href="https://www.manageengine.jp/products/Password-Manager_Pro/case-studies.html">https://www.manageengine.jp/products/Password-Manager_Pro/case-studies.html</a></p>			